

産業構造審議会グリーンイノベーションプロジェクト部会（第8回）

議事要旨

- 日時：令和4年11月10日（木）15時00分～16時00分
- 場所：オンライン開催（Webex）
- 出席者：益部会長、大野委員、栗原委員、関根委員、玉城委員
- 議題：

1. 各プロジェクトのモニタリング状況について
2. 価値創造経営の推進に向けた取組について
3. その他ご共有事項

■ 議事要旨：

事務局より、資料2に基づき説明があり、議論が行われた。委員等からの主な意見等は以下の通り。

1. 各プロジェクトのモニタリング状況について

- 標準化戦略について現場レベルと経営層の間に認識のギャップが存在しうることから、標準化推進においては双方の理解を深める必要がある。
- プロジェクトの進捗に伴うCO₂排出削減効果のモニタリングが重要。
- 個別案件ごとの削減効果を社会に示すことが信頼向上につながる。
- 事業化に向けた資金調達について、金融市場における選別の厳しさがあることから、事業者側において情報開示の取り組みを、研究開発と並行して進めるべき。
- 経営戦略におけるカーボンニュートラルへの挑戦が重要で、競合分析や複数の戦略的シナリオの準備が必要。
- 事業の中止を含む見直しの基準も整理する必要がある。

2. 価値創造経営の推進に向けた取組について

- 価値創造経営が企業のイノベーション創出や社会実装の基礎であると認識しつつ、基本方針に位置づける際には十分な議論が必要。
- カーボンニュートラルに向けた自社の課題を明確にし、GI基金のプロジェクトを通じて企業価値がどのように向上するかを説明することが重要。
- グリーントランスフォーメーションとグリーンウォッシュの線引きをしっかりと行い、特に、多排出産業においては、単に旧来のアセットを切り捨てるのではなく、持続可能な形でのトランスフォーメーションを進めることが重要。
- 経営者のコミットメントを確認するためのモニタリングが重要。
- コミットメントの確認において、価値創造経営の取り組みがどのように評価されるかは慎重に考慮されるべき。

3. その他ご共有事項

- 特になし

以上

(お問合せ先)

産業技術環境局 環境政策課 カーボンニュートラルプロジェクト推進室

電 話 : 03-3501-1733

F A X : 03-3501-7697